

2023年2月21日

報道機関 各位

長崎大学経済学部で映画上映&オープンフォーラムを開催

映画「ニュートック（NEWTOK）－反乱を起こす水」

地域社会の持続可能性について経済学の視点から教育研究を進める長崎大学経済学部山口研究室では、「私たちは、故郷である地球を救うためにビジネスを営む。」をいうミッションを掲げるアウトドアウェア等を製造、販売する patagonia と協働し、「ニュートック（NEWTOK）－反乱を起こす水」の上映&オープンフォーラムを開催します。

気候変動に対応するために、脱炭素社会の実現が叫ばれ、長崎県内においても、多数の自治体でゼロカーボンシティを目指すことが表明されています。しかし、気候変動による負の影響への対応、化石燃料の使用削減による産業構造の転換、さらには転換によって生じる新たな問題などについて十分な配慮がなければ、特定の自然、人、地域や国に負荷が生じる可能性があります。そこで、それらの負荷を低減しつつ新たな社会の形を実現するために求められるのが「公正な移行（Just Transition）」という考え方です。

アラスカのベーリング海沿岸部に位置するユピック族の小さな村、ニュートックは、永久凍土の溶解や川の浸食など水によっては、消滅の危機に直面し、集団移転の必要性に迫られています。この映画は、そのような環境中で暮らすニュートック住民の視点から描かれた物語です。また、上映後には一般社団法人 Climate Integrate 代表理事の平田仁子さんと東北大学東北アジア研究センター・同環境科学研究科教授の明日香壽川さんによるディスカッションを通じて、「公正な移行」とは何か、その日本における実現について考えます。詳細については、添付のチラシをご覧ください。

長崎の皆さんにも知って欲しい内容となっていますので、取材いただければ幸いです。

1. 日時：令和5年2月26日(日) 12:30 開場 13:00 上映開始 15:00 フォーラム開始 16:30 終了
2. 参加：無料（要予約：定員100名）
3. 会場：長崎大学経済学部本館12教室（別紙参照）

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学経済学部准教授 山口純哉 junya-y@nagasaki-u.ac.jp

(別紙)



長崎市片淵 4-2-1 (長崎大学片淵キャンパス)

A FILM BY ANDREW BURTON & MICHAEL KIRBY SMITH

NEWTOK

THE WATER IS RISING



ニュートック
反乱を起こす水

RUNNING TIME: 93 MINUTES

EXECUTIVE PRODUCERS: MONIKA McCLURE, ALEX LOWTHER, JOSH NIELSEN,
JONATHAN LOGAN, FITZ CAHALL, BECCA CAHALL, ZACK CANEPARI, JESSICA DIMMOCK
PRODUCERS: ANDREW BURTON, MICHAEL KIRBY SMITH, MARIE MEADE
EDITOR: DAVIS COOMBE ORIGINAL SCORE: WILLIAM RYAN FRITCH
DIRECTORS OF PHOTOGRAPHY: ANDREW BURTON AND MICHAEL KIRBY SMITH



patagonia
FILMS

ROAN
FILMS



Photos: Andrew Burton and Mitchell K. Smith © 2023 Patagonia, Inc.

水に消されつつあるニュートック。アラスカのベーリング海沿岸部の三角州に造られたこの小さなユピック族の村は、永久凍土の融解、川の侵食、インフラの崩壊への対処を、十年も迫られてきた。360人の住民はユピックの文化と共同体を存続させるため、村全体を上流の安定した土地に移転させる必要があり、一方で、気候変動と闘うための適切な行動を怠ってきた国の政府とも向き合わねばならない。この村が移転することで、彼らは21世紀におけるアメリカ初の気候難民となる。この映画は気候変動による災害に直面して正義を求めている、ある村の真実の肖像だ。

Presented by **patagonia FILMS**®

『ニュートック — 反乱を起こす水』 フィルム上映 & オープンフォーラム

～ 気候正義から公正な移行へ 日本の社会システムのこれからを考える～

気候変動を抑えるために必要とされているのは脱炭素社会の実現です。化石燃料使用の大幅な削減は急務であり、それとともに産業構造の転換に際して労働者や地域社会への負の影響を減らす「公正な移行」も必要です。すでに多くの国が公正な移行の取り組みをはじめており、2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすると宣言した日本も、その実現に向け、公正な移行を議論すべきときにあります。「公正な移行」とは何か、また現代の日本でそれを実現するには何が必要かを考えます。

■ 長崎会場

2023年 2/26 (日)

12:30 開場 | 13:00 上映開始 | 15:00 フォーラム開始 | 16:30 終了

会場：長崎大学経済学部本館 12 教室

長崎県長崎市片淵 4-2-1

協力：長崎大学経済学部山口研究室

■ 東京会場

2023年 3/5 (日)

12:30 開場 | 13:00 上映開始 | 15:00 フォーラム開始 | 16:30 終了

会場：上智大学・四谷キャンパス ソフィアタワー(6号館) 101 教室

東京都千代田区麹町 6丁目 1-1

後援：上智大学

■ 参加費：無料(要予約) *どなたでもご参加いただけます。

■ 参加申込：右記QRコードからお申し込みいただけます。

■ 申込締切：申込先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます。

■ イベントに関するお問合せ：パタゴニア カスタマーサービス
0800-8887-447:フリーコール 045-435-6100:携帯電話・IP電話

■ 主催：パタゴニア日本支社 協力：長崎県経済学部山口純哉ゼミ 後援：上智大学



パネラー

平田 仁子
ひらた きみこ



一般社団法人Climate Integrate 代表理事。国内外のパートナーと連携し、各ステークホルダーの脱炭素への動きを支援する。気候変動枠組条約締約国会議(COP)にはCOP3から参加。早稲田大学社会科学研究所博士課程修了(社会科学博士)。主な著書『気候変動と政治-気候政策統合の到達点と課題』成文堂(2021)等。

明日香 壽川
あすか じゅせん



東北大学東北アジア研究センター・同環境科学研究科教授。東京大学大学院工学系研究科修了(学術博士)。(財)地球環境戦略研究機関気候変動グループ・ディレクター(2010-2012年)。専門は、環境科学政策論。著書に、『グリーン・ニューディール:世界を動かすガバナンス・アジェンダ』(岩波新書)等。

patagonia
FILMS®